



OITA VICTIM SUPPORT CENTER

# ニュースレター

公益社団法人 大分被害者支援センター広報誌

2018年3月発行 発行責任者 / 一原 浩

32

2018  
MARCH

「公益社団法人 大分被害者支援センター」に期待すること

大分県警察本部長 太刀川 浩一 氏

写真:菜の花と由布院盆地

大分県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
**公益社団法人 大分被害者支援センター**

〒870-0037 大分市東春日町1番1号 事務電話 TEL.097-532-7776

メール:info@ovsc.jp ホームページ:http://www.ovsc.jp

相談電話 TEL.097-532-7711 (月～金 9時～17時)

秘密厳守  
相談無料



## ごあいさつ

### 「公益社団法人 大分被害者支援センター」に 期待すること

大分県警察本部長

太刀川 浩一 氏



公益社団法人大分被害者支援センターの皆様方には、犯罪被害者支援業務のみならず、警察業務の諸般にわたり、深い御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

犯罪被害者やその御家族に対する支援は、事件直後の心理的混乱状態にある犯罪被害者等に対して、いち早く、且つ適切に実施されることが重要であり、その成否がその後の支援活動に大きく影響を及ぼすこととなります。

このため、警察では、事件発生直後から、犯罪被害者やその御家族に寄り添い、捜査に関する説明、事情聴取の付き添い、報道機関への対応などについて各種支援を行っております。

一方、犯罪被害者等のニーズは、時間の経過とともに多種多様なものに変化し、あらゆるニーズを警察などの公的機関だけで充足することは困難であります。

こうした中、貴センターの活動で、犯罪被害者等が再び平穏な生活を回復するまで、個々のニーズに即した、途切れることのない支援が実現されることにより、犯罪被害者等の精神的拠り所となる、かけがえのない存在であります。

本年は、大分県犯罪被害者等基本条例が4月1日に施行され、各市町村においても犯罪被害者等を支援するための条例の制定や犯罪被害者等に対する見舞金の支給に関する動きが活発化するなど、本県における犯罪被害者支援の大きな進展の年となることが見込まれ、貴センターに対する活躍の期待は更に高まり、その役割もより重要なものになってまいります。

今後とも、犯罪行為による直接的な被害のみならず、犯罪被害によって生じる様々な問題に苦しむ犯罪被害者等のニーズに即し、貴センターならではのきめ細やかな支援により、多くの犯罪被害者等が十分に救済されることを期待いたします。



## 街頭活動

### イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン

皆様の御協力をお願い致します

毎月11日、イオングループのお店にて、精算時に発行される黄色いレシートを、店内に設置されてる投函BOXに投函して頂きますと、このレシートの合計金額の1%分のギフトカードがイオン株式会社より寄贈されます。

当日、大分被害者支援センターもボランティアの方々と共に店頭にたち声掛けをしています。

## 広報活動

### トキハ本店前ティッシュ配布

毎月第2金曜日（行事や雨天にて変更あり）トキハ本店西側敷地にて、ポケットティッシュを配布し、広報活動を行っています。見かけたら声をかけて下さいね。

## キャンペーン

### 犯罪被害者支援の日キャンペーンバザー inガレリア竹町ドーム広場

「全国犯罪被害者支援の日」の取り組みの一環として11月11日(土)に大分市竹町ドーム広場でバザーを開催しました。当日は舞鶴高校のインターアクトクラブの生徒さん、中央ロータリークラブ会員の方々、被害者支援のボランティアの方などのご協力を得て、商品の運搬から、陳列、販売作業を一丸となって行いました。個人や団体の皆様からご提供して頂いた出品数約2,000点はあっという間に完売し、盛況のうちに終わることができました。

収益金245,444円は被害者支援活動資金として大切に使用させていただきます。皆様のご協力、本当にありがとうございました。



## イベント

### 大分大学 開学祭 2017

平成29年11月5日、大分大学旦の原キャンパスにおいて、開学祭と地域交流イベントが盛大に行われました。

当センターからも参加し、3名の学生さんと共に広報活動、募金の呼び掛けを行いました。

当日は快晴に恵まれ、やや寒さも感じましたが、学生さんの熱意に圧倒されながら、参加地域団体との交流もあり、センターの事を知っていただく一日となりました。



▲広報活動・募金の呼び掛け

## 講演会

### 平成29年度犯罪被害者支援講演会

平成29年度犯罪被害者支援講演会が、12月2日(土)大分県庁新館14階大会議室にて開催されました。

第1部は、『性暴力と生きることのリアル～回復と必要な支援』と題して山本潤様が講演されました。性を語ること・性について聞くことの難しさを思い知らされ、支援する者としての自覚と責務の重さを振り返させられました。同時に、性暴力は私たち誰にも起こりうる可能性をもっていること、言葉にして語りあえることの大切さを教えていただきました。

第2部のリンゴの会とアースハーモニーによる『癒しのコンサート』では、懐かしい歌に癒され、初めて聞く歌にわくわくしながら、トーンチャイムのやさしい響きに心が穏やかになりました。会場全体が柔らかなベールに包まれたように、非日常の至福のひとときを過ごすことができました。お忙しい中を多くの方々に参加していただき、有意義な一日となりました。



▲講演する山本潤さん



## チャリティーコンサート

### ～犯罪被害者支援チャリティーコンサート～

大分市のホルトホール1階大ホールにて、「犯罪被害者支援チャリティーコンサート」を開催致しました。

前半、大分被害者支援センターの設立主旨や、活動内容について報告させていただきました。

後半は、元かぐや姫の森さんをリーダーとするバンド“DEAR FRIENDS”の素晴らしい演奏と優しい歌声に包まれ、会場の熱い声援のなか、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

ご協力頂いたDEAR FRIENDSのメンバーと、寒い中ご来場くださった皆様のお陰で、感動溢れるチャリティーコンサートとなりました。



▲DEAR FRIENDSの皆さん

## 研修会

### 全国犯罪被害者支援フォーラム2017・秋期全国研修会

平成29年10月6日(金)から10月8日(日)にかけて開催され、当センターから4名が参加し貴重な経験を積むことができました。

今回のフォーラムのメインテーマは「性犯罪被害者支援の充実を目指して」でした。支援活動を支え協力してくださっている各機関・行政・警察・一般の方も含め500名収容のホールが満席となり、110年ぶりとなる性犯罪に対する刑法の改正、ワンストップセンター設置への動きとあわせ、注目と関心の高さを感じました。

そして、性犯罪被害者の声として「性犯罪被害に遭うということ～被害者の私が自分らしく生きる選択～」をテーマに、早川恵子さんの講演がありました。

ある日突然、見知らぬ人からの被害に遭い、恐怖、絶望でフリーズする中、死を覚悟し「自分自身の存在が完全に否定され、自分がなくなっていく」と感じた心境。病院や警察で受けた二次被害の実態。何年も襲ってくるフラッシュバック、自責感などを赤裸々に話してくださいました。

そんな中でも「友人やいろんな人が、いつも自分と繋がっていてくれていたこと」が自分を取り戻せることになったと語り、「自分らしく生きる選択として被害者の人達を孤独にしないよう、自分が話せることを話していこう」という勇気ある姿勢に多くの共感と感謝の拍手が続きました。

その後、「性犯罪被害者支援の現状と今後の展望」をテーマにパネルディスカッションが行われ、医療機関、県警、被害者支援センターの三者が、それぞれの立場から支援現場での課題

や問題点、他機関への要望等について活発な意見交換がなされました。

現状と今後のあり方については、私たち支援に関わる者たちの資質の向上、社会への啓発、実のある連携が重要であると感じました。

10月7日(土)、8日(日)は場所を機械振興会館に移し、秋期全国研修会が行われました。

全体会は、「性暴力被害者へのとぎれない支援」をテーマに弁護士、犯罪被害相談員、臨床心理士の立場からパネルディスカッションが行われ、それぞれの経験、現状、問題点などが具体的に報告、討議され改めて途切れない個々にあったオーダメイドの支援の提供の必要性について深く考えさせられました。

分科会は、両日とも7部会あり、私は「医療機関との連携Ⅱ～被害者の精神的ケア～子ども・きょうだい・家族への関わり方」に参加しました。

被害者支援について多くの見識を持ち、トラウマ診療に詳しい精神科医のお話をいただきました。

つづいて、自らの体験からきょうだいへの精神的ケアの必要性を感じ、タギーセンター（アメリカ）でグリーンケアの研修を受け、その普及を目指しておられる被害者ご遺族のお話を伺いました。

被害を点として見るのではなく、面として捉えることの必要性、連携の大切さを再確認した時間でした。(N.S)



## 研修会

### 平成29年度質の向上研修下半期研修会（九州・沖縄ブロック）

平成30年1月27日(土)・28日(日)の2日間、宮崎市において全国被害者支援ネットワーク主催による平成29年度質の向上研修下半期研修会が開催されました。当センターから2名が参加しました。

それぞれの講義後、相談技術・面接相談・事例検討会の進め方、助言・指導ではグループ討議を行い、関係機関との連

携のあり方・直接的支援の展開では、ロールプレイを行うなど、今後の支援に役立つ研修内容でした。また、支援に関連する法律、制度・人材育成の意義などを学びました。

今回の研修で学んだことを、今後の支援活動に生かせるようにしていきたいと思えます。(S.A)

## お知らせ

### ACジャパン2018年度支援キャンペーン・全国被害者支援ネットワーク選定

当センターが加盟している公益社団法人全国被害者支援ネットワークが、2018年度支援キャンペーンの支援団体に引き続き選定されました。2018年夏からTV、ラジオ、新聞等様々なメディアで広告展開が行われます。

### ホームページをリニューアルしました

当センターのホームページが新しくなりました。



ホームページURL : <http://www.ovsc.jp/>

### 犯罪被害者等電話相談・全国共通ナビダイヤルが開設されます

平成30年4月1日より(年未年始は除く)、「犯罪被害者等電話サポートセンター」が開設されます。当センター開設時間内にお電話できなかつた場合、ご利用下さい。

全国共通ナビダイヤル  
0570-783-554

※おかけ間違いのないようご注意ください

### 寄付金付自動販売機・募金箱設置のお願い

公益社団法人 大分被害者支援センターでは、企業や団体の皆様に「寄付金付自動販売機」や「募金箱」の設置のご協力をお願いしています。

お問い合わせは、お電話やメールでも受け付けております。

電話番号 : 097-532-7776 メールアドレス : [info@ovsc.jp](mailto:info@ovsc.jp)

是非ご協力をお願い致します。



募金箱▶



## 公益社団法人 大分被害者支援センター

センターの活動は皆様の温かいご支援により支えていただいております ～心より感謝申し上げます～

振込用紙で、ご芳名掲載を了承して頂いた法人・個人・団体の掲載をさせて頂きました。記載漏れ、誤字脱字等の不備がございましたら、お手数ですが、事務局までご一報くださるようお願い申し上げます。次回のセンターニュースにて記載させて頂きます。

<敬称略>

## 【法人賛助会員】

AOU大分県本部  
 阿部建設株式会社  
 医療法人 長内科小児科胃腸科医院  
 医療法人 星生クリニック  
 医療法人MSC 森山消化器内科クリニック  
 臼杵運送株式会社  
 大分県カラオケBOX協会  
 大分航空ターミナル株式会社  
 株式会社石井工作研究所  
 株式会社大分銀行  
 株式会社トーホーフードサービス  
 株式会社トキハイングストリー  
 社会福祉法人 泰生会  
 パンパシフィック・カップー株式会社 佐賀関製錬所  
 大和ハウス工業株式会社 大分支店  
 有限会社吉川ボデー  
 吉野プラスチック株式会社 大分工場

## 【個人賛助会員】

阿南 隆	河野 昭三	堀 宏明
安藤 芳枝	園田 正和	三重野政宏
池邊 廣司	高田 正彦	山内 光生
井上 健司	玉井智鶴子	油布 良平
衛藤 祐介	玉井 春平	藤澤 幸児
木下 光一	戸崎 保博	
工藤 隆	秦野 晃郎	

## 【寄付金】

佐伯自動車学校  
 社会福祉法人 別府光の園  
 児童養護施設 光の園 職員一同

<平成29年8月～平成30年3月納入分>

## 賛助会員募集

私たちの活動は、皆さまの会費・寄付により支えられています。一緒に支えてくださる会員を募っています。ご協力宜しくお願いします。

## ■年会費（口数に制限はありません）

法人会員…1口 10,000円  
 個人会員…1口 3,000円

ご寄付をお願いします！

金額や口数に問わず、随時受付をしています。

(当センターへの賛助会員の会費・寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。)

## ■振込先

①大分銀行 大分駅前支店 普通預金 口座番号 5256165  
 ②ゆうちょ銀行 口座番号 01730-3-111326 (払込取扱票は事務局にあります)  
 加入者名 (①・②ともに)  
 公益社団法人 大分被害者支援センター 理事長 三井 嘉雄

## 編集後記

## センターのちょっといい話

正午を知らせるチャイムが響くとスタッフが各自お弁当を抱えて部屋の隅に設けられているテーブルに集まります。指定されているわけではありませんがたいしては決まった席に腰をおろします。

一般的なランチタイムの光景かもしれませんが、ここ大分被害者支援センターにとっては、たわいのない話の中に

スタッフが抱える悩みに気付くことも時にはあります。雑談を無駄とするのではなく、スタッフが支援を続けられるためにも、心も体も元気でいられることが大切です。

この限られたひと時は、唯一スタッフが和む大切な時間となっています。



OITA VICTIM SUPPORT CENTER  
**ニュースレター**

公益社団法人 大分被害者支援センター 広報誌  
 2018年3月発行 発行責任者/一原 浩

32

2018  
 MARCH